

平成 29 年度 胃がん検診精度管理調査結果

【調査の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられています。その点から、がん検診の精度管理はきわめて重要です。この調査は、三重県が、胃がん検診を行っている全市町対して、精度管理が適切に行われているかどうかを知る目的で行ったものです。なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

【調査の対象】

この調査の対象は、当県で胃がん検診（集団検診及び個別検診）を行っている全市町です。

【調査の種類】

調査は「1. がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査」と「2. 精度管理指標数値の調査」の2種類を実施しました。

【調査の概要、及び調査結果】

調査 1. がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査（平成 29 年度の検診体制）

《調査内容》

胃がん検診で整備すべき体制については、平成 20 年 3 月の厚労省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、検診機関用チェックリスト、市区町村用チェックリストとして整理されています。このチェックリストは平成 28 年に大幅に改定され、それまでの集団検診に加え、個別検診も同時に点検できるようになりました。

今回の調査は、平成 28 年に改定されたチェックリストを利用し、その遵守状況を調査したものです。

《調査項目と評価基準》

胃部エックス線検査の調査項目は、市区町村用チェックリスト 51 項目です。評価基準は以下の 7 段階評価としました。

評価基準	遵守されていない項目数	評価内容
A	0	チェックリストをすべて満たしている
B	1 ~ 8	チェックリストを一部満たしていない
C	9 ~ 16	チェックリストを相当程度満たしていない
D	17 ~ 24	チェックリストを大きく逸脱している
E	25 ~ 32	チェックリストをさらに大きく逸脱している
F	33 以上	チェックリストをきわめて大きく逸脱している
Z	無回答	調査に対して回答がない

＜結果 胃部エックス線検査＞

① 集団検診

市町	評価	市町	評価	市町	評価	市町	評価
津市	C	亀山市	C	菰野町	B	大紀町	C
四日市市	B	鳥羽市	C	朝日町	B	南伊勢町	B
伊勢市	—	熊野市	C	川越町	B	紀北町	B
松阪市	E	いなべ市	D	多気町	D	御浜町	C
桑名市	D	志摩市	E	明和町	E	紀宝町	D
鈴鹿市	B	伊賀市	C	大台町	E		
名張市	E	木曽岬町	D	玉城町	E		
尾鷲市	C	東員町	C	度会町	E		

※ —：集団検診未実施

② 個別検診

市町	評価	市町	評価	市町	評価	市町	評価
津市	D	亀山市	C	菰野町	B	大紀町	—
四日市市	B	鳥羽市	D※	朝日町	—	南伊勢町	—
伊勢市	D	熊野市	—	川越町	—	紀北町	—
松阪市	E	いなべ市	D	多気町	E	御浜町	—
桑名市	E	志摩市	E	明和町	E	紀宝町	—
鈴鹿市	B	伊賀市	C	大台町	F		
名張市	E	木曽岬町	D	玉城町	F		
尾鷲市	—	東員町	—	度会町	—		

※鳥羽市 平成 29 年度個別検診未実施、平成 27 年度精度管理指標に関する結果のみ

※ —：個別検診未実施

調査 2. 精度管理指標数値の調査

＜調査内容＞

市町に対して、受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の 5 種類について、調査しました。※受診率算定対象年齢 40～69 歳で算出、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度算定対象年齢 40～74 歳（出典：平成 28 年度地域保健・健康増進事業報告）

本調査では平成 27 年時点で胃がん検診に設定されていた胃部エックス線検査を対象としています。

＜評価基準＞

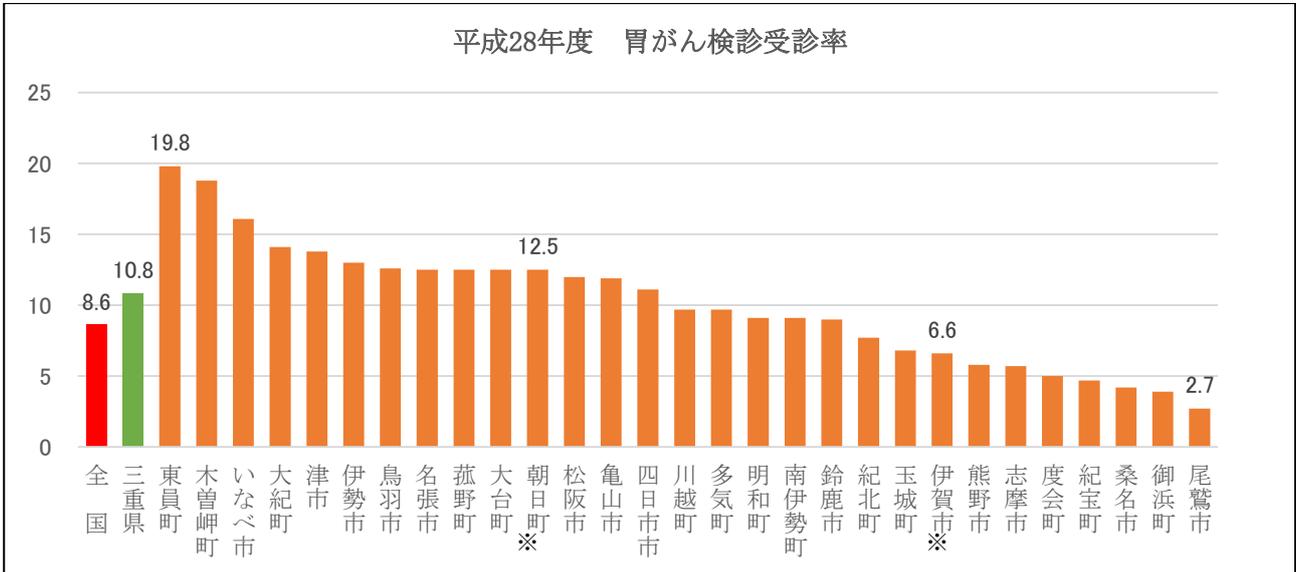
評価基準は前述した厚労省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※ 要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けますし、がん発見率、陽性反応適中度は小さな自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は 90%以上、許容値は 70%以上とされています。

《結果：胃がん検診（胃部エックス線検査）の精度管理指標数値》

① 受診率

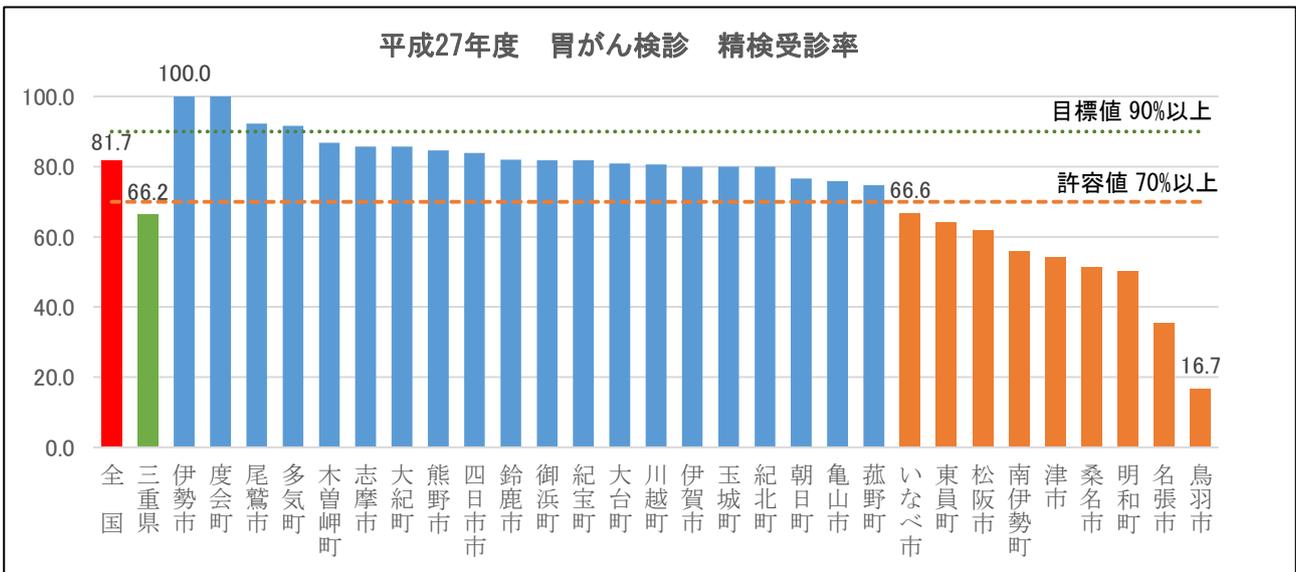
受診率は、胃がん検診の対象の方のうち受診された方の割合です。対象者の算出方法は市町によっても相違があるため、厳密には正確な値でないこともあります。なるべく高いことが望ましいとされています。第3期がん対策推進基本計画及び三重県がん対策推進計画（第4期三重県がん対策戦略プラン）（平成30年3月策定）では、50%以上が目標とされています。



注) ※は、地域保健・健康増進事業報告に計数不詳があり公表がない市町。数値は、同報告の第21-2表の公表値から算出したものを使用。

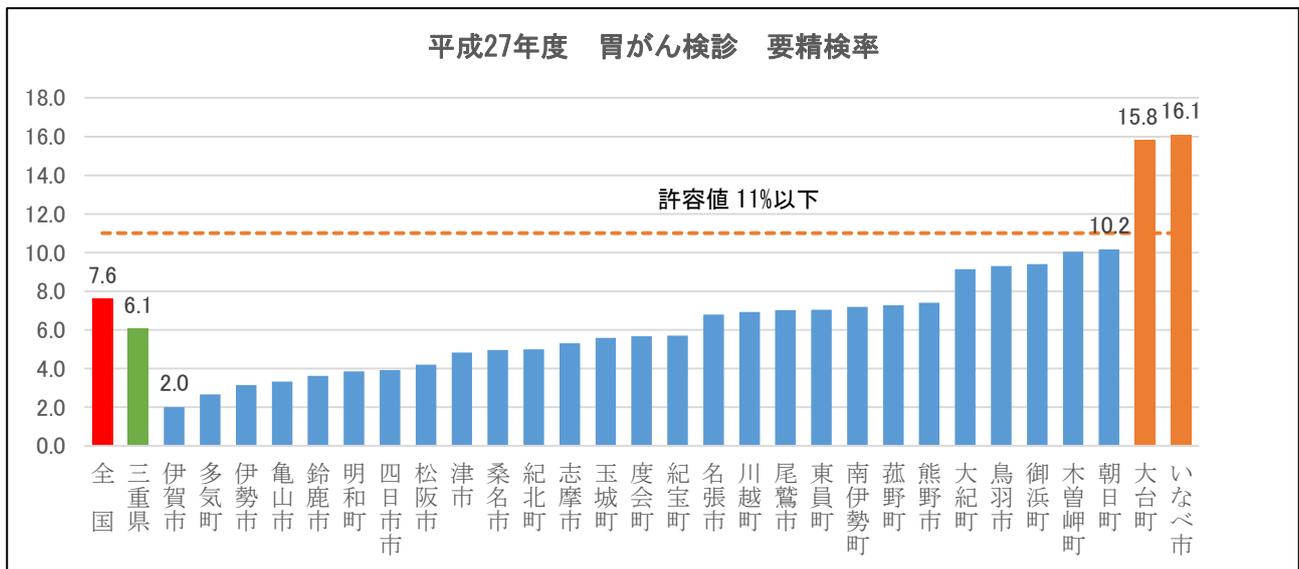
② 精検受診率

精検受診率は「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、100%に近い方が望ましい指標です。



③ 要精検率

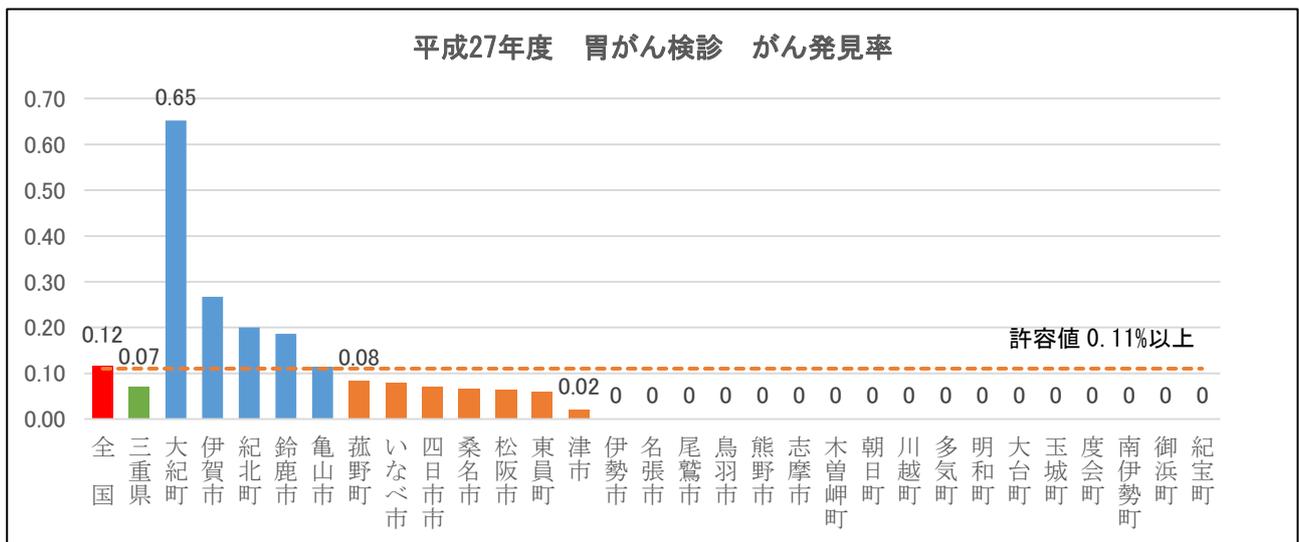
要精検率は、受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 11%以下（受診者 100 人中要精検が 11 人以下）とされていますが、有病率が高い地区（胃の病気が多い地区）では高くなることもあります。



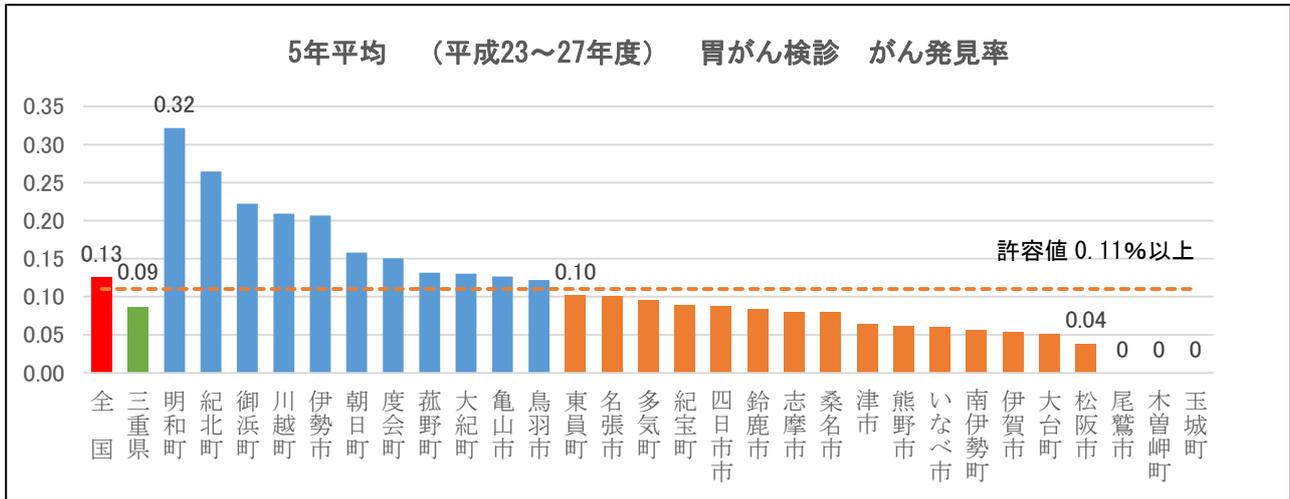
④ 胃がん発見率

胃がん発見率は、受診された方のうち胃がんが発見された方の割合で高ければ高い方が望ましい指標です。許容値は 0.11%（受診者 1 万人で 11 例の胃がん発見）以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

また、小規模な自治体では年度による変動が大きくなることがあるため、過去 5 年間分（平成 23～27 年度）の平均による数値についても示します。



注) 0 は、受診者（40～74 歳）に胃がんが発見されていない市町。

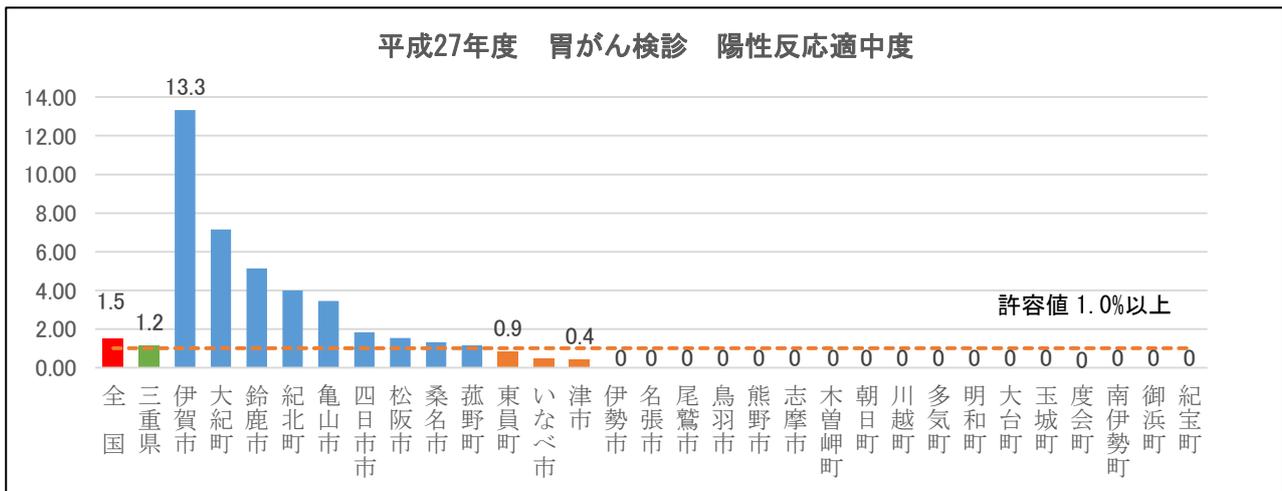


注) 0は、受診者(40~74歳)に胃がんが発見されていない市町。

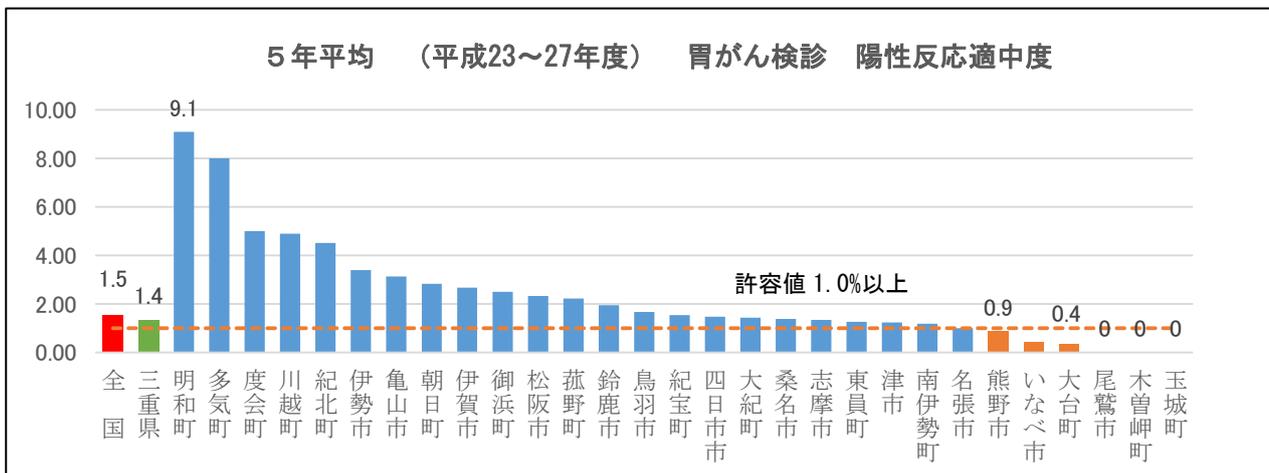
① 陽性反応適中度

陽性反応適中度は、「要精密検査」とされた方のうち、実際に胃がんがあった方の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は1.0%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

また、小規模な自治体では年度による変動が大きくなることがあるため、過去5年間分(平成23~27年度)の平均による数値についても示します。



注) 0は、要精密検査者(40~74歳)に胃がんが発見されていない市町。



注) 0は、要精密検査者(40~74歳)に胃がんが発見されていない市町。

胃がん検診 市町精度管理指標

(%)

	受診率 (H28)	要精検率 (H27)	精検受診率 (H27)	がん発見率 (H27)	陽性反応適 中度(H27)
目標値	40%以上	—	90%以上		
許容値	—	11%以下	70%以上	0.11%以上	1.0%以上
全 国	8.6	7.6	81.7	0.12	1.5
三重県	10.8	6.1	66.2	0.07	1.2
津市	13.8	4.8	54.1	0.02	0.4
四日市市	11.1	3.9	83.9	0.07	1.8
伊勢市	13.0	3.1	100.0	0.00	0.0
松阪市	12.0	4.2	61.8	0.06	1.5
桑名市	4.2	5.0	51.3	0.07	1.3
鈴鹿市	9.0	3.6	82.1	0.19	5.1
名張市	12.5	6.8	35.3	0.00	0.0
尾鷲市	2.7	7.0	92.3	0.00	0.0
亀山市	11.9	3.3	75.9	0.11	3.5
鳥羽市	12.6	9.3	16.7	0.00	0.0
熊野市	5.8	7.4	84.6	0.00	0.0
いなべ市	16.1	16.1	66.6	0.08	0.5
志摩市	5.7	5.3	85.7	0.00	0.0
伊賀市	※6.6	2.0	80.0	0.27	13.3
木曾岬町	18.8	10.1	86.8	0.00	0.0
東員町	19.8	7.0	64.1	0.06	0.9
菰野町	12.5	7.3	74.7	0.08	1.2
朝日町	※12.5	10.2	76.7	0.00	0.0
川越町	9.7	6.9	80.6	0.00	0.0
多気町	9.7	2.7	91.7	0.00	0.0
明和町	9.1	3.9	50.0	0.00	0.0
大台町	12.5	15.8	81.0	0.00	0.0
玉城町	6.8	5.6	80.0	0.00	0.0
度会町	5.0	5.7	100.0	0.00	0.0
大紀町	14.1	9.1	85.7	0.65	7.1
南伊勢町	9.1	7.2	56.0	0.00	0.0
紀北町	7.7	5.0	80.0	0.20	4.0
御浜町	3.9	9.4	81.8	0.00	0.0
紀宝町	4.7	5.7	81.8	0.00	0.0

- ・ 平成 28 年度地域保健・健康増進事業報告による。
- ・ ※は、地域保健・健康増進事業報告に計数不詳があり公表ない市町。数値は、同報告の第 21—3 表の公表値から算出したものを使用。
- ・ 各指標の計算方法は以下のとおりです。
 - 受診率……………受診者数/対象者数*100（平成 27 年度は算定対象年齢 40～69 歳、平成 28 年度は算定対象年齢 50～69 歳）
 - 要精検率……………要精検者数/受診者数*100（算定対象年齢 40～74 歳）
 - 精検受診率……………精検受診者数/要精検者数*100
 - がん発見率……………がんであった者/受診者数*100
 - 陽性反応適中度………がんであった者/要精検者数*100